

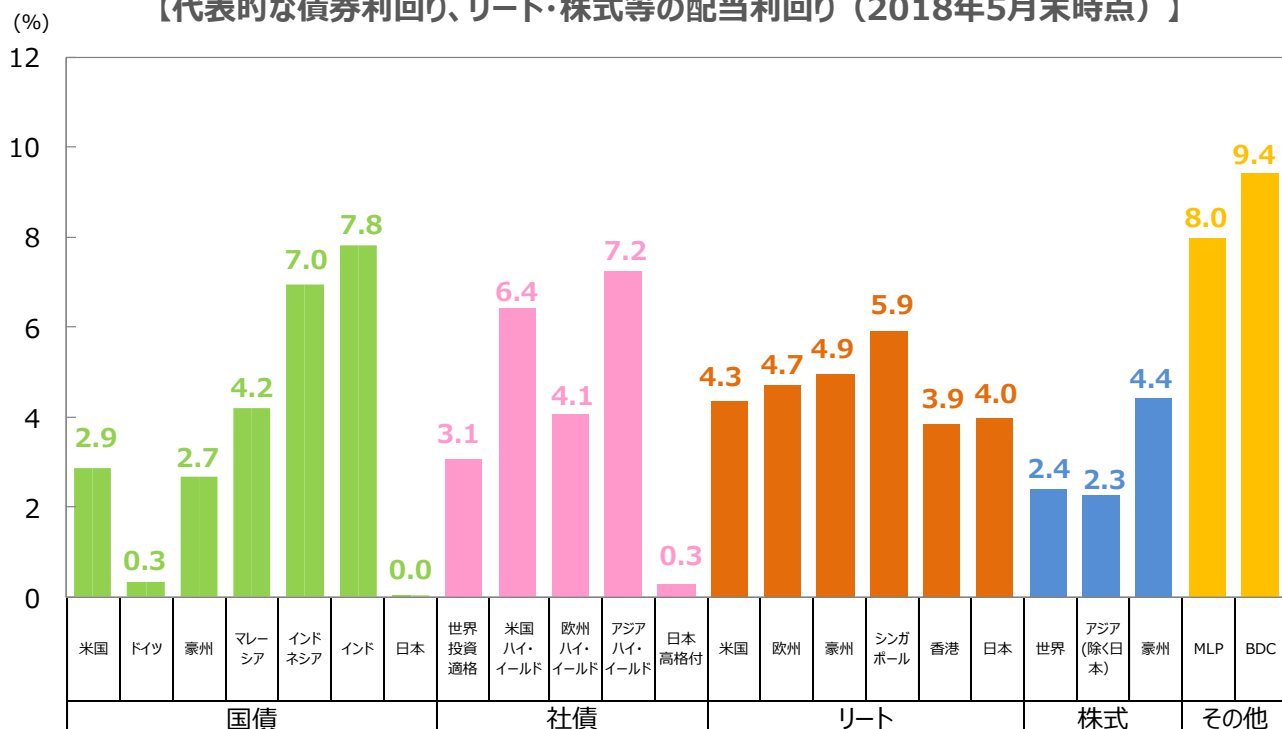
今日のトピック 主要な資産の利回り比較 (2018年6月)

2018年5月はアジア国債、社債全般の利回りが上昇

アジアの国債利回りが小幅に上昇しました

■ 5月は、先進国の国債利回りが前月比（以下同様）で低下する一方、新興国市場全般の下落の影響を受けてアジアの国債利回りが小幅ながら上昇しました。社債は日本以外上昇しました。リートの配当利回りはまちまちの動きとなりました。欧州、シンガポールは上昇しましたが、米国、豪州は低下、香港、日本は変わらずでした。株式はほぼ変わらずでした。その他の資産はMLP、BDCともに2カ月連続で低下しました。原油価格の上昇などが好材料となった模様です。

【代表的な債券利回り、リート・株式等の配当利回り (2018年5月末時点)】



(注1) 国債は10年国債利回り。社債は世界投資適格社債がBloomberg Barclays Global Aggregate Corporates Index、米国ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays U.S. High Yield Index、欧州ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays Pan-European High Yield Index、アジアハイ・イールド社債がJ.P.Morgan Corporate Non Investment Grade、日本高格付社債がNOMURA-BPI事業債指数。リートはすべてS&P先進国リート指数の主な国・地域指数、株式は世界株式がMSCI AC ワールド インデックス、アジア（除く日本）株式がMSCI AC アジア（除く日本）インデックス、豪州株式がMSCI豪州インデックス。MLPはアレリアンMLP・インデックス、BDCはウエルズファーゴBDC・インデックス。

(注2) MLPは有限責任組合（Master Limited Partnership）で、米国で行われている共同投資事業形態の1つです。エネルギーや天然資源に関する事業などを行っているMLPがあります。BDCは米国の事業開発会社（Business Development Companies）です。銀行とは異なる企業形態で、中堅企業等向けに、融資や出資（株式の取得など）を行う会社です。

(出所) Bloomberg L.P.、J.P.Morgan Markets、野村証券金融工学研究センター、S&P Dow Jones Indices LLC、FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2018年5月29日 米国経済と長期金利の見通し (2018年5月)

2018年5月22日 金融市場の変動要因を整理

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。